

# 論理的に自分の考えを形成する力を育成する授業づくり ～考えの形成に向かう学習過程の工夫を通して～

国語科 1年生 「スイミー」  
～「スイミー」の好きなところをしょうかいしよう！～



メッセージカード  
個人思考・ペアでの交流

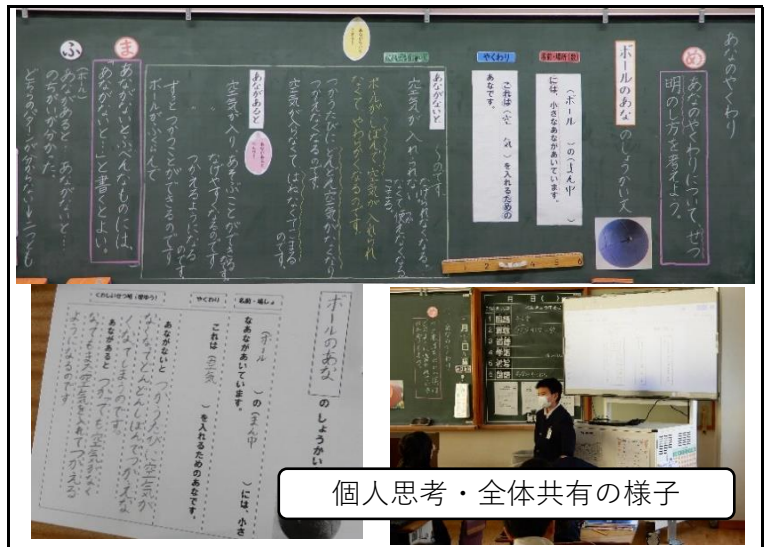
「スイミー」のお話を読んで、スイミーの行動や気持ちを具体的に想像し、自分の経験と結び付けながら登場人物の気持ちを考える学習をしました。

行動の描写や表現の効果とスイミーの気持ちとを結び付けながら考え、本時の最後には、学習したことを振り返りながら、スイミーにメッセージを書くことができました。

国語科 2年生 「あなのやくわり」  
～紹介カード名人になろう～

重要な語や文に着目しながら、あなのやくわりを読み取ったり、説明がどのようにされているのか考えたりしました。授業では、JAMボードでの並び替えを通して、文の構成に注目することができました。

学んだ説明の書き方をもとに、身の回りにあるあなを探し、そのあなのやくわりを考え、紹介カードにまとめました。



個人思考・全体共有の様子

国語科 3年生 「ゆうすげ村の小さな旅館 ウサギのダイコン」  
～物語の面白さが伝わる本の紹介をするスライドを作ろう～



個人思考・全体共有の様子

美月さんとつぼみさんの性格や関係性、物語に隠された様々な「しかけ」を読み取る活動をしました。

クロームブックでジャムボードやスプレッドシートを使うことで自分の考えと友達の考えを共有することができました。

物語の面白さが伝わる本の紹介をするためには、その物語に隠された「しかけ」や登場人物の性格、関係性を読み取ることが大事だと学び、自分達で紹介するスライドを作りたいと意欲を高めました。

国語科 4年生 「教え方を生み出そう」  
～「新しい教え方交流会」を開こう！～

身の回りにある物の「教え方クイズ」を行い、教え方に興味をもって本単元に入りました。

大切な言葉や文に線を引いて、段落ごとの内容を読み取り、段落のつながりを意識して筆者の主張を捉えていきました。そこから、筆者は、主張を伝えるために、読み手に呼びかけたり、事例を挙げたりするなどの筆者の工夫に気付くことができました。

単元のまとめでは、筆者の主張に寄り添い、いろいろなところに注目して、新しい教え方を生み出すことができました。



論理シートを活用して、話し合う様子

国語科 5年生 「大造じいさんとがん」  
～すぐれた表現に着目して、登場人物の心情を伝え合おう～



理由を根拠となる叙述を明確にし、発表する姿

大造じいさんの気持ちの変化を基に、大造じいさんの人物像を考える活動をしました。

構成シートに書かれている大造じいさんの気持ちの変化から、理由を根拠となる叙述を明確にし、発表することができました。

本単元の最後には、登場人物の人物像や気持ちの変化を表しながら音読をすることができました。

国語科 5年生 「『弱いロボット』だからできること」  
～私たちの未来にはどんなロボットが必要？～

本文から筆者の主張を読み取り、それをさらに資料の内容と比較することによって、自分の考えを深めたり広げたりしました。

論理ブックに書き込みながら、構成シートを完成させることで、筆者の主張を整理しながら読み取ることができました。授業ごとにテクノロジーに対する自分の考えを書き溜めることで、自分の考え方の変化が見える化し、筆者の主張に対する自分の考えを深めることができました。最終的には、筆者の主張にあったオリジナルの弱いロボットアイデアを出し合うことができました。



論理ブックを活用し、自分の考えを深める姿



算数科 5年生 「正多角形と円周の長さ」  
～色々な図形の周りの長さを求め、説明しよう～

勾玉のような形の周りの長さの求め方を、図と式と言葉を関連付けながら説明しました。分けて求める解き方や一つの円にして求める解き方など、様々な意見が出る中、友達の助けをもらいながら説明することができました。また自分の考えだけでなく、友達の考えを自分の言葉で説明し、考えをより深めていくことができました。

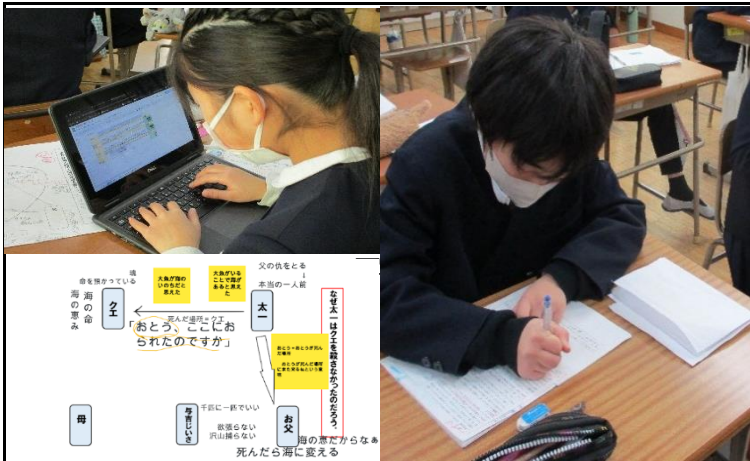
今後はより定着させていくために、算数の言葉を確実に用いるよう繰り返し学習していきます。



図・言葉・式を関連させながら説明する活動

国語科 6年生 「海のいのち」

～物語が自分に最も強く語りかけてきたことは何か、考えを伝え合おう～



関係図・論理シート・振り返りを書きためることで考えを深める様子

山場での太一の心情の変化を基に、「海のいのち」の題から何を作者が伝えようとしているのかを読み取りました。そこから、主題についても考えました。

登場人物のそれぞれの関係性や心情の変化を関係図にまとめ、視覚化することで考えを整理する手立てとしました。また、論理シートに本文を根拠にした考えを書いたことで理由付けながら発言しました。振り返りは、学んだことを80文字以内でまとめることで学びを深めました。

これらの学習を通して、自分たちがそれぞれ物語から最も強く語りかけられたことについて、考えをまとめることに意欲を高めました。

# 児童・生徒の実態に応じた指導を生かした授業づくり —児童が意欲的に学習できる学習過程の工夫を通して—

## なかよし学級 1組 「お家の人と仲良くなるう」 ～いろいろなゲームをしよう～

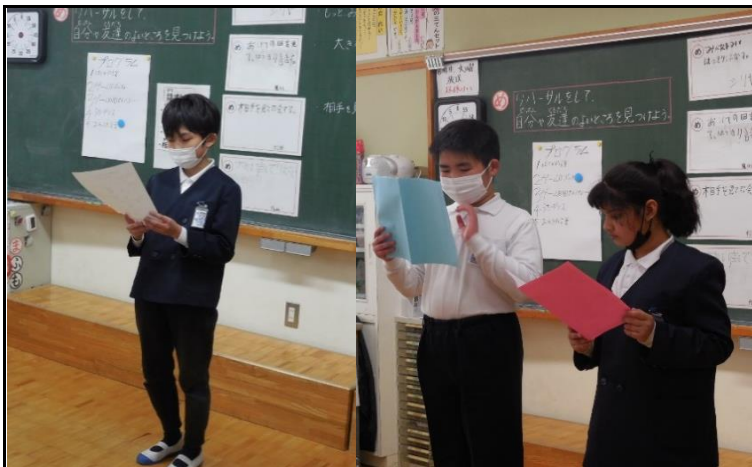
お家の人と神経衰弱ゲームをするために、なかよし2組を招待して、自分の役割や目標達成に向けて取り組めるかどうかをリハーサルしました。児童は自分の役割をしっかりと生かしながら、責任をもって活動に取り組むことができました。

なかよし2組の児童も楽しんでゲームに参加してくれて、一緒に楽しむことができました。



神経衰弱を通して自分の役割に取り組む様子

## なかよし学級 2組 「言葉のキャッチボールをしよう」 ～お楽しみ会について話し合おう～



司会や説明をしている様子

お楽しみ会のプログラムやゲームの内容、ルールについて話し合いをして、お楽しみ会を開催しました。1年生から6年生までみんなが楽しむためには、どうすればよいかを考えて、意見を出し合いました。

話型や話すときのポイントを示すことで、相手に伝わりやすい話し方を意識して、話し合いをしたりみんなの前で説明をしたりすることができました。

なかよし学級 3組 「認め合い、伝え合おう自分や友達の良さ」  
～目指せ！褒め達人～



活動を振り返っている様子

次の学年に向けて、自分や友達の行動を振り返り、さらに成長するために、良さを見付け伝え合いました。

協力するゲームを通して、友達の温かい声掛けに気付いたり、周りのことを考えた行動を見付けたりしながら、友達の良いところを進んで見付けることができました。

なかよし学級 4組 「箱の形を調べよう」  
～いろいろな箱の形のひみつを考えよう～



異学年で協力している様子

身の回りにある箱の形を仲間分けしたり、ねんどや竹ひごで箱の形を作ったりする活動をしました。

箱の形について調べたことや分かったことを各学年で意見を交流したり、異学年同士で教え合ったりしました。

これらの活動を通して、教え合いや互いの評価をする場面で児童が理解を深めたり、自信をもって意見を発表したりすることができました。